

済生会飯塚嘉穂病院

緩和ケア病棟

ちょっと一言

「患者さんから悲嘆的な言葉を 投げかけられた時」

医療者は、患者さんから「死んでしまいたい」「生きていても仕方ない」など、返答に困る悲嘆的な言葉を聞く時があります。つい「そんなこと言わないで頑張りましょう」と励ましたくなりますが、終末期の患者さんはすでに頑張ってきた方なので、否定や励ましは却って「自分のことを分かってくれない」と逆効果になります。

現状を変えるのは難しくても、「そんなに辛いのですね」と話を側で聞いてくれる、辛さを分かろうとしてくれる人を、きっと患者さんは待っていてくれるのだと思います。



5月の病棟の庭は、
たくさんのお花に彩られ
ました。ボランティア
さん達のおかげで、
患者さんやご家族に、
喜んでいただけて
います。



病棟の
外庭と中庭



がんサポートチーム について

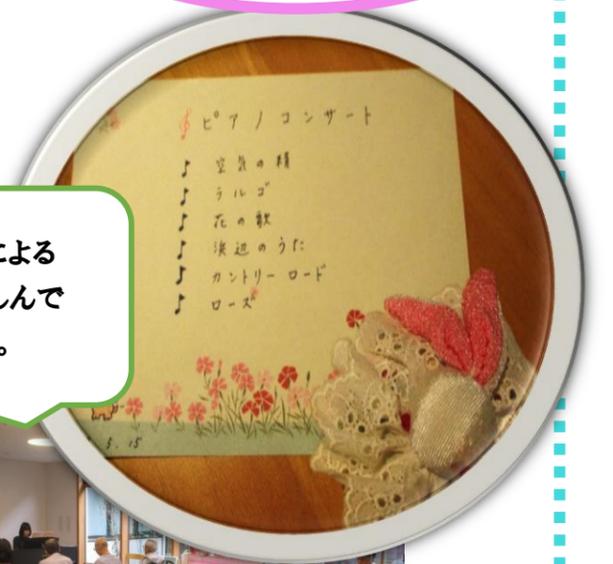
4月より、緩和ケア病棟以外の当院のがん患者さんへ、がんサポートチームの介入を始めました。緩和ケアは、がんと診断されたときから始める、心と体の辛さを和らげるケアです。抗がん剤治療など、治療をできるだけ続けていけるためにも、大事な支援となります。メンバーは緩和ケアと心療内科の医師、臨床心理士、薬剤師、MSW、緩和ケア認定看護師で活動しています。



桜のお花見

母の日コンサート

ボランティアさんによる
ピアノの調べを楽しんで
いただきました。



ボランティアさん募集中です！
園芸やお茶会、ピアノ演奏などしてくれる方、緩和ケア病棟
の尾崎までご連絡ください。お待ちしております。



編集・作成 緩和ケア認定看護師 尾崎昌子
メールアドレス ozaki-m@iizuka-kaho.jp